

第4回 議員さんと語ろうアンケート 集計

2023.10.28 豊沢ふれあい会館

アンケート回答数 21

1. 参加を決めた時点で、一番、期待していた内容は？

講話「袋井市の少子化の現状を知ろう」— 8 , グループワーク — 17 , その他 — 0

2. おしゃべりサロンを友人に紹介したいですか？

⑤ 12 ④ 6 ③ 3 ② 0 ① 0

3. 今後、企画してほしいテーマはありますか？

食育—4 , 災害・けが—3 , 行政・子育て支援—10 , 健康—5 , 居場所—9 , 貧困—5
障害・福祉—6 , 幼稚園・保育園・学校—5 , 遊び—3

その他) ・不登校(もし当事者の保護者様のお話が聞ければ聞いてみたい。教育支援センター「ひまわり」の職員さんの話を聴いてみたい)

4. ご意見・ご感想をどうぞ!

- ・本日は、おまねきいただきありがとうございました。今後の市政への提言とさせていただきます。
- ・様々な立場(視点)から話を聴くことができ、有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・話しあいの場があるということが、安心につながると感じました!!
- ・子どもから離れて出生率について話せて楽しかったです。
- ・単に子育てといっても、昔とは環境も含めて変化してきている。現場の声、お母さんたちの声を直接聴くことは貴重な時間になったと思います。
- ・もっとグループトークの時間があっても良いと思います。子どもをみてもらえて助かりました。
- ・たくさんの意見を聞くことが出来、とても参考になりました。このような会をたくさんやっていただきたいと思います。
- ・たくさんの意見や話が聞けて参考になりました。
- ・いろんな立場の方の意見を聞けて良かったです。普段、年の違った方々と話をする機会があまりないので、新鮮でした。
- ・机をグループ分けした状態で講話を聴くのはメモを取りづらくて、あまり良いと思えなかった。講話の後に休憩を入れ、その間にスタッフ中心に配置換えすると良かったのではないのでしょうか。子どもたちの元気な声を聴きながら講話を集中して聴くには、もう少し講話時間が短い方が良かったと感じた。少し疲れました。
- ・子育て中の方の貴重なご意見を聞くことができました。議会の議員活動に生かしていきたいと思います。
- ・グループワークで他の方の意見をきけてよかったです。子育て中のすべての方にやさしい社会になるといいです。
- ・仕事との両立について悩んでいたが、他の両立の先輩から同じような悩みを聞くことが出来、共感する機会を得られたのがよかったです。議員の方とグループトークの中で、議員の方の考えを聞いたのがよかったです。話せてスッキリしました!
- ・袋井市の子育てについての現状を知ることが出来て良かった。子育てをしている方だけでなく、皆が健康で安心してらせる市になってほしいと実感した。カンガルーのぽっけの営業は、13:00~17:30 までは休けいなしでやってほしいです。

第4回 議員さんと語ろう！ Aグループ

生活所得

- ・豊かな生活が出産数を増やす
- ・経済が一番 お金があれば子どもを産むのにー！

経験

- ・今が大事
- 子どもを育てるのは、あとでとても楽しかった！と思う時がきます。

結婚

- ・オランダ人の友人(4人)
- ・結婚率の減少

理解

- ・職場全体が出産、子育てに理解があるといいです。
- ・子どもは日本の宝、一人でも多く子どもを産んでください。

保育

- ・日曜保育が増えるとありがたい。
- できたら金額もリーズナブルだったら嬉しい。

障がい

- ・放課後児童クラブ在籍して欲しい。

第4回 議員さんと語ろう！ Bグループ

相談

- ・小児科、発達相談
できるHPが皆無

仕事

- ・仕事と不妊治療の両立
- ・働くところが少ないので大都市へ移住する
- ・少子化は企業にとって死活問題

保育園

- ・保育士不足

個人

- ・共働きせざる得ない
- ・将来が心配で結婚ができない
- ・共働きで子づくりがむずかしい

産科

- ・産科病院がない
- ・不妊治療HPない、遠い

『議員さんと語ろう！』 Cグループレポート

- 学びを持って魅力ができないかな？
- 不登校への対策・対応に興味がある。
- 子育ての優しい事業所は、決定
袋井にはない！決定事業所へのインセンティブも含めて求めたい。
- **PSR ネットワーク WORK**
- 社会保険労務士ネットワーク
- 事業所に対する助成金・給付金←制度はあっても中小企業はアクセスする余裕がない。
- 子育てしやすい職場・市立・理解

(1) 今回の参加動機は？

- ・袋井市の子育てについて知りたかった。(磐田市在住 パパ)
- ・子育てに関心があり、議員さんと直接話ができ意見が言える。(市内在住 ママ)
- ・ばあばとして、自分の家族が幸せに暮らして欲しい。(市内在住 年長者)

(2)働く為の環境整備について

- ・仕事に専念して、結婚しない人が増えている。
- ・子育て生活にはお金がかかりすぎる。
- ・余裕を持って、育児・子育てができない。

(3) 海外における育児への取り組み方について

- ・ほほえみの文化が根付いている。
- ・公園や街中でパパとママと一緒に子育てをしていた。(海外赴任中の時)
- ・海外赴任中の時、妊娠出産した場合の補助金や帰国時のフォローについて知りたい。
- ・夫婦カウンセラーがいると良いのでは？(相談する人がいない)

(4) 病気やケガなどが起きた時にどうするか

- ・子どもが、発熱等の症状が出たときの夜間救急の対応がわかりづらい。
- ・保護者(パパ・ママ)が病気やケガをした時に子どもを預ける先がない。
- ・ギックリ腰になった時、子どもの面倒を見てくれる人がいなくて困った。

(5) その他

- ・家事に費やす時間が多すぎる中で、補助機器(洗濯機や清掃器具など)を購入する補助金があると嬉しい。
- ・子育て支援の家電製品があると便利で時間の節約ができる。

Eグループ 議事録

袋井市の出生数1000人を目指して

★企業、社会のジェンダーギャップを解消してほしい

・袋井市の子育ては、祖父母の協力が前提にあると感じる。祖父母世代・企業・社会自体のジェンダー観が古く感じる。自分は県外出身で祖父母サポートが無い核家族だが、母親や上司から「子供が大きくなるまではパートでいいんじゃない？」などと言われ傷ついた。

・父親が子供の予防接種に行くと、非常に肩身が狭い。まだまだ珍しがられる。

・育休が当たり前になったものの、育休で減った人員分の業務は他のメンバーの負担になる。人材不足のなかの育休取得は、取得する人も周りのメンバーも前向きになれない。

・「有給はなるべく取らない（病気の時だけ）」といった暗黙の了解を変えるため、個人が権利を主張するところから始めよう。権利なのだから使って、使ったことで組織が回らなくなれば、回るような仕組みづくりをするのが企業。

・とはいえ、男性が育休や有給を使おうとすると、古い組織ではいじめやいやがらせが発生するおそれがある。

・教員の仕事は、計画年休という形で事前に休むタイミングを決めなければいけない状況にある。理由は人員不足と仕組み。

★保育士不足が深刻

・保育人材の確保のために、お金をかけるべき。給与アップしてほしい。

・法律を変えるのは難しく、とても時間がかかる。

・幼稚園は希望者が減っている

→公立幼稚園の先生がいない。給料の低さや、結婚出産で辞めてしまう
子供が減れば先生の人数も減るため、ギリギリでやってる

・先生が出産しても時短勤務になるような仕組みがないと。
そこにお金をかけるべきだと思う

・すぐに国の制度は変えられない
自分ができる身近なことから変えていこう。

・シルバー人材、ファミサポにつながってみては？
→シルバー人材も減少している（定年年齢の引き上げ・孫育て・介護）

みんなのぽっけ第4回議員さんと語ろう！袋井出生数1000人計画を考えよう！

グループF

だれもが住みやすい社会こそ子育てしやすい街

●子育ての資金援助

子供一人1000万円手当 18才まで年間55万円/月4.6万円の手当

→2人子供がいたら扶養の範囲で働く主婦と同じくらいの稼ぎになるように。

相談が気軽にできる居場所・相談所

●産前・産後の支援の充実

結婚のサポート

●教育の充実

最先端の学びができる環境

少人数教育20人～30人

インクルーシブ教育の充実

→あまりに多様性がありすぎてもしっかり学びたい生徒の障がいにならない配慮が必要。

●不登校児について

不登校、一人一人にあわせた適切な支援を。

ただでさえ、少ない子供たち。その子供たちが学校へ行けず学習もできずに苦しんでいるのを放置してはいけない。育て方次第で未来に活躍できる人材になる。

障がい児のサポートは充実しているが、不登校児へのサポートはたいしてない現実

●障がい児について

袋井版、障がい児放課後児童クラブの存続を。

障がいのある子どもとその家庭のサポート

●子供食堂

子供食堂を全小学校区に作る計画がある。

子ども食堂はすでに貧困家庭の子供が利用するというものから、地域の居場所としての機能に重点が置かれている。

●夏休みの子供のケア

夏休みの子供の居場所、保護者親へのサポート

夏休みこども学童、お年寄りの通場に。昼ごはん200円とか、宿題見ます。8時—17時

●ライフデザインやキャリアを教えることを早期から

子どもの発達段階に応じたキャリア教育の充実

高校生のアルバイトを解禁して早く働く感覚を身に着けさせることが大事

金銭感覚を養うこと・稼ぐ人材への育成につながる

高校生へのライフデザイン講座の充実

●保育について

希望通りの保育園に入れるようになること

祖父母の同居でも保育園が使える

令和6年から、誰でも保育が始まる？1時間から預けることができるようになる？

●結婚について

婚活の場づくり、お見合いやイベントなど充実で。

夫婦カウンセラーの充実、離婚率の上昇や夫婦の不仲が問題になっている昨今、

結婚に対して破壊的な状況になってからの支援ではなく、結婚してからすぐに第三者が介入することの大切さ。お金のことや夫婦のライフデザインについての話し合いがスムーズにできるようなサポート、講座の実施

行政による結婚の支援の充実

●富山型デイサービスが素晴らしい、高齢者も障害児も、普通の人も利用できる

●その他

情報発信の大切さ・生の声

市役所からの情報発信、メローネっと？HP？インスタ？youtubeの活用があるといい。

妊娠、出産、子育て、介護、まるっとサポートしますよ。の機関があるといい。

安心して子育てができる体制づくり(縦割りではございませんよ)

社会には子育て世代に不便ことが多い。声をどうやって行政に届けたらいいかわかりやすい仕組みの実施。

他市が羨む街にする

教員・保育士、魅力ある職場待遇の改善で働く人を増やす